

第45回おぢや風船一揆新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

1. 主催者の対策

①スタッフの安全管理の徹底

- ・開催2週間前から毎体温を測定し、体調の把握、管理に努める。
- ・上記体温測定の結果は、実行委員会から配付する健康チェックカードに各自記入し、参加初日に受付で提出する。
- ・上記健康チェックカードにおいて、チェック項目に該当する場合には、参加を不可とする。ただし、PCR検査（自己対応）を受けて陰性が証明でき、症状が改善している場合には参加可能となる場合もある。
- ・毎朝の参加受付時に検温を行い、体温が37.5℃以上の場合には参加を不可とする。
- ・体調不良の場合には無理をせず参加を自粛する。
- ・原則マスクを着用する。
- ・手洗いうがい及び手指消毒を定期的に行う。
- ・極力他者との距離を保ち、3密を避けた行動をとる。
- ・特に来場者と接する業務にあたる者はフェイスシールドを着用する。

②スタッフ名簿の作成

- ・スタッフの名簿を作成し、緊急連絡先を把握する。

③競技フラインチサイトへの立ち入り禁止の徹底等

- ・ランチサイト付近の立ち入り禁止区域に立ち入らないよう警備員を配置する。
- ・警備員はフェイスシールド着用する。
- ・会場付近に来場された方に対して、スタッフが巡回しソーシャルディスタンスの確保を促す。
- ・会場付近にソーシャルディスタンスを促す看板を設置する。

④新型コロナウイルス接触確認アプリの活用

- ・新潟県が提供するLINEアプリサービス「新潟県新型コロナお知らせシステム」及び厚生労働省が提供するアプリ「COCOA」を活用し、登録を促すための看板（QRコードを表示）を会場内に設置し、読み取りをお願いする。

⑤密を避けた観覧の周知

- ・競技会場付近に観客が密集しないよう、自宅の庭など会場外での観覧を促す。
- ・自宅での観覧を楽しめるよう、映像のライブ配信を行う。

2. 競技出場チームの対策

日本気球連盟「熱気球活動における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防についてのガイドライン」を遵守の上、下記の点についても徹底する。

①参加条件

- ・競技に参加するチーム数を20チーム以内とする。
- ・競技に参加するメンバー数を6人程度に限定する。
- ・メンバー全員の名簿を作成し、事前に実行委員会へ提出する。
- ・緊急事態宣言または、日常拠点都道府県において、なんらかの制限が発令された場合は原則参加を認めない。

②体調管理の徹底

- ・開催2週間前から毎体温を測定し、体調の把握、管理に努める。
- ・上記体温測定の結果は、実行委員会から配付する健康チェックカードに各自記入し、参加初日に受付で提出する。
- ・上記健康チェックカードにおいて、チェック項目に該当する場合には、そのチームメンバーの参加を不可とする。ただし、PCR検査（自己対応）を受けて陰性確認後、2週間程度経過し症状が改善している場合には参加可能となる場合もある。
- ・競技期間中、タスク毎の参加受付時に検温を行い、体温が37.5℃以上のメンバーがいる場合には、そのチームの競技参加を不可とする。

3. 中止の判断

イベント開催前及び開催中に下記事案が発生した場合、実行委員会にて中止の判断を行う。

- ①当日参加する実行委員会（役員・実行委員・事務局）のなかで感染者が確認され、他の実行委員の多くが濃厚接触者の可能性があると思込まれた場合
- ②小千谷市内において、集団感染（クラスター）の疑いが確認された場合及び会場周辺地域で感染者が確認された場合
- ③国による緊急事態宣言又は新潟県の独自基準において警報が発令された場合